

10款 5項 1目 社会教育総務費

社会教育振興事業

(社会教育課)

決算事項別明細書 279 ページ

予算現額	6,327,000 円		決算額	5,814,020 円		
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	512,980 円			県 支 出 金		
前 年 度 比 較	決算額			4,486,715 円	地 方 債	
	増減額			1,327,305 円	そ の 他	
	増減率	29.58%	一 般 財 源	5,814,020 円		

<目的>

社会の要請や地域住民のニーズに対して、学習の機会や場を提供し、社会教育の充実を図ります。

<内容>

社会教育の振興を図るため、学習機会の提供とともに、社会教育事業を主体的に行う関係団体を支援し、社会教育活動の促進を図ります。

<実績・成果等>

1 ジュニアリーダー養成事業の開催

狭山市子ども会育成会連絡協議会との共催により、レクリエーションの指導技術、彩の国21世紀郷土かるた審判員等の講習会を開催しました。

事業名	期 間	回 数	会 場
狭山市ジュニアリーダー 初級講習会	令和元年5月26日～ 令和2年2月2日	9 回	農村環境改善センター、 入間川小学校ほか

2 平和推進事業の開催

市民に広く平和について考える機会を提供し、平和に関する意識の高揚を図るため、中央公民館を会場に平和祈念講演会を開催しました。

内 容	期 日	参加人数
平和祈念講演会 朗読「ヒロシマー『さがしています』(アサー・ピナート/作)より」 講演「未来に向けて伝えること―丸木夫妻の「原爆の図」を 今につなぐ―」	令和元年8月12日	91人

3 現代的課題等の講座の開催

地域活動につながる人材育成を視点において、現代的課題や地域課題をテーマに公民館や関係団体等と連携して講座を実施しました。環境にやさしいライフスタイル講座は、6回開催し延べ168人が、駅前発！楽しく学ぶ自分磨き講座は、5回開催し延べ138人の参加がありました。

4 子ども大学の開催

小学校4年生から6年生を対象として、子どもの知的好奇心を刺激する学びの機会を提供する「子ども大学さやま・いるま」及び「子ども大学さやま」を開校しました。「子ども大学さやま・いるま」は、東京家政大学及び入間市教育委員会との共催により、7月20日から11月16日までの間の4日間開催し、狭山市から21人、入間市から42人の合計63人が受講しました。また、「子ども大学さやま」は、武蔵野学院大学、武蔵野短期大学及び飯能信用金庫との共催により、10月5日から12月21日までの間の5日間開催し、46人が受講しました。

5 社会教育関係団体の支援

社会教育関係団体に補助金を交付し、各団体の活動を支援しました。

狭山市PTA連合会	302,000 円
狭山市子ども会育成会連絡協議会	233,000 円
狭山市地域文庫連絡会	65,000 円
狭山市立幼稚園PTA連合会	50,000 円
狭山市ボーイスカウト・ガールスカウト連合会	178,000 円

10款 5項 1目 社会教育総務費

成人式開催事業

(社会教育課)

決算事項別明細書 281 ページ

予算現額	500,000 円		決算額	450,359 円		
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	49,641 円			県 支 出 金		
前 年 度 比 較	決算額			455,456 円	地 方 債	
	増減額			△5,097 円	そ の 他	
	増減率	△1.12%	一 般 財 源	450,359 円		

<目的>

成人に達した青年男女の新しい門出を祝福するとともに、成人としての自覚と市民としての意識の高揚を図ります。

<内容>

成人式を挙げて、青年男女の新しい門出を祝福し、成人としての自覚と市民としての意識の高揚を図ります。

<実績・成果等>

第66回狭山市成人式を令和2年1月12日(日)に狭山市市民会館で開催しました。

性 別	該当者数	出席者数	出席率
男	717 人	509 人	70.90 %
女	695	530	76.26
合 計	1,412	1,039	73.58

10款 5項 1目 社会教育総務費

生涯学習推進事業

(社会教育課)

決算事項別明細書 281 ページ

予算現額	7,359,000 円		決算額	7,049,818 円		
翌年度繰越額			特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	309,182 円	決算額の 財源内訳		県 支 出 金		
前 年 度 比 較	決算額			2,909,240 円	地 方 債	
	増減額			4,140,578 円	そ の 他	74,750 円
	増減率		142.33%	一 般 財 源	6,975,068 円	

<目的>

誰もが、生涯をとおして豊かに学び、学びをとおして、自分を磨き高めるとともに、学びの成果を社会のなかで活かすことができるよう、生涯学習の充実を図ります。

<内容>

生涯学習に取り組む機会や学習の成果を発表する場を充実し、生涯学習に取り組む市民団体の活動を促進します。

また、生涯学習に関する情報提供の充実に向けて地域ポータルサイト「さやマルシェ」の更なる活用を図るとともに、生涯学習情報コーナーにおける情報提供、相談機能の充実を図ります。

<実績・成果等>

- 生涯学習ボランティア制度の充実
さまざまな経験や知識・技能を持ち社会参加に意欲のある人材を募集して、学習指導者として登録し、市民の学習の場での活用を通じて市民の学習活動の促進を図りました。本年度の登録者は135人、登録件数（指導分野）は175件となりました。
- 生涯学習まちづくり出前講座の推進
職員が地域に向き、市の業務内容や取組みをわかりやすく説明する「生涯学習まちづくり出前講座」を開催しました。出前講座のメニュー講座とリクエスト講座を合わせて、428件、28,520人が受講しました。
- 生涯学習の場としての学校施設の開放
市民の文化活動やスポーツ・レクリエーション活動の促進を図るため、入間川小学校の施設の一部（特別教室及び講堂）を開放し、延べ631団体、19,716人の利用がありました。
- 生涯学習情報コーナーの運営
生涯学習に関する情報提供や市民からの問合せ及び相談に総合的に応じる窓口として、生涯学習情報コーナーを、さやま生涯学習をすすめる市民の会に委託して運営を行いました。本年度は、360日間開所し、13,811人の利用がありました。
- 地域ポータルサイトにおける生涯学習関連情報の提供
地域ポータルサイト「さやマルシェ」内の『さやまなびいネット』にて、市内公民館や小・中学校開放体育館等で活動しているサークルの情報などを提供し、月平均17,679件のアクセスがありました。
- 市民文化祭の開催
各公民館、富士見集会所、中央図書館、市民会館の14会場において、646団体が活動成果を発表し、28,620人が来場しました。市民文化祭（14会場） 825,600円

10款 5項 1目 社会教育総務費

学校支援事業

(社会教育課)

決算事項別明細書 281 ページ

予算現額	1,732,000 円		決算額	1,608,320 円		
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	123,680 円			県 支 出 金	532,000 円	
前 年 度 比 較	決算額			1,715,964 円	地 方 債	
	増減額			△107,644 円	そ の 他	
	増減率	△6.27%	一 般 財 源	1,076,320 円		

<目的>

学校・地域が一体となって学校支援に取り組む体制づくりを進めることで、市民の学習成果を活かす機会を拡充し、学校教育の充実と地域の教育力の向上を図ることを目的とします。

<内容>

学校支援ボランティアセンターによる学校支援の充実を図るとともに、学校応援団の組織の拡充を通じて、地域による学校支援を促進します。

<実績・成果等>

1 学校応援団の運営

小中学校 23 校に学校応援団を設置し、学習支援、部活動指導、環境整備、登下校の安全見守り等の支援を行い、全校合わせた活動日数は延べ 7,996 日で、延べ 73,632 人が学校支援に携わりました。

2 学校支援ボランティアセンターの運営

地域の教育力を活かして、小中学校の学習支援にあたる学校支援ボランティアセンターについて、その運営をさやま市民大学同窓会（旧 SSCC 同窓会）に委託し、小中学校 23 校に 319 人のボランティアを派遣しました。

10款 5項 1目 社会教育総務費

家庭教育支援事業

(社会教育課)

決算事項別明細書 281 ページ

予算現額	727,000 円		決算額	644,520 円		
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金		
不用額	82,480 円			県支出金		
前年度 比較	決算額			654,920 円	地方債	
	増減額			△10,400 円	その他	
	増減率	△1.59%	一般財源	644,520 円		

<目的>

核家族化の進行や社会構造、価値観などの変化に伴い、家庭の教育力の低下が指摘されている現状を踏まえ、家庭教育の自主性を尊重しつつ、学習機会の提供などを通して、家庭教育を支援します。

<内容>

PTA と連携して、家庭教育研修会や家庭教育学級の内容の充実を図り、家庭の教育力の向上に向けた支援を行います。

<実績・成果等>

1 家庭教育合同研修会の実施

家庭教育合同研修会を狭山市 PTA 連合会との共催により、4 会場で実施しました。

期 日	会 場	内 容
令和元年 10 月 26 日	柏原小学校体育館	講演会 「見方を変えればうまくいく！」子育てリフレーミング～子供に対する見方を変えて味方になろう～
令和元年 11 月 23 日	入間川中学校体育館	講演会 インターネットセキュリティー ～インターネット犯罪にあわないために～
令和元年 11 月 30 日	狭山元気プラザ体育館	講演会 違いを認め共生する子供を育てる教育支援の在り方
令和元年 11 月 30 日	入間野中学校体育館	講演会 家庭で伝えるいのちのはなし

2 家庭教育学級の実施

家庭教育学級の開設と運営を幼稚園保護者会と小中学校 PTA に委託し、実施しました。

幼稚園幼児期家庭教育学級	6 学級	90,000 円
小学校 PTA 家庭教育学級	15 学級	225,000 円
中学校 PTA 家庭教育学級	8 学級	113,920 円

3 すこやか子育て講座の実施

令和 2 年 4 月に入学する児童の保護者を対象に、就学時健康診断や入学説明会の機会を捉え、市立小学校全校（15 校）において家庭教育や子育てに関する講座を実施しました。

10款 5項 1目 社会教育総務費

地域子ども教室推進事業

(社会教育課)

決算事項別明細書 281 ページ

予算現額	2,942,000 円		決算額	2,506,405 円		
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	435,595 円			県 支 出 金	1,336,000 円	
前 年 度 比 較	決算額			2,467,850 円	地 方 債	
	増減額			38,555 円	そ の 他	
	増減率	1.56%	一 般 財 源	1,170,405 円		

<目的>

核家族化の進行や社会構造、価値観などの変化に伴い、家庭や地域の教育力の低下が指摘されている現状を踏まえ、地域で子供を育む機会を充実させ、家庭や地域の教育力の向上に取り組むとともに、子供の健全育成を図ります。

<内容>

地域で子供を育む機会として、様々な体験や交流の場となる地域子ども教室の活動を推進します。

<実績・成果等>

地域子ども教室の推進

放課後教室 9 教室、週末教室 3 教室を実施しました。

放課後教室として 86 回開催し、延べ 7,155 人が参加、週末教室として 20 回開催し、延べ 897 人が参加、広域事業として 1 回開催し、14 人が参加しました。

10款 5項 1目 社会教育総務費

青少年健全育成事業

(社会教育課)

決算事項別明細書 283 ページ

予算現額	2,936,000 円		決算額	2,858,579 円		
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	77,421 円			県 支 出 金		
前 年 度 比 較	決算額			2,947,167 円	地 方 債	
	増減額			△88,588 円	そ の 他	
	増減率	△3.01%	一 般 財 源	2,858,579 円		

<目的>

家庭、地域、学校が連携して青少年の健全育成活動の充実を図り、以って青少年の健全な成長を促進するとともに地域の教育力の向上を図ります。

<内容>

青少年の健全育成活動の充実のため、青少年育成団体の活動を支援します。

<実績・成果等>

1 青少年育成団体の支援

青少年育成団体に補助金を交付し、各団体の活動を支援しました。

狭山市青少年育成推進員会 57,000 円

青少年を育てる狭山市民会議 2,760,000 円

10款 5項 1目 社会教育総務費

人権施策推進事業

(社会教育課)

決算事項別明細書 283 ページ

予算現額	1,585,000 円		決算額	1,046,546 円		
翌年度繰越額			特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	538,454 円	決算額の 財源内訳		県支出金		
前年度 比較	決算額			934,593 円	地方債	
	増減額			111,953 円	その他	
	増減率	11.98%	一般財源	1,046,546 円		

<目的>

同和問題をはじめとする様々な人権問題の正しい理解と認識を深め、一人ひとりの人権が尊重され、差別のない明るい地域社会の実現を目指します。

<内容>

同和問題、女性、子供、高齢者、障害者、外国人などに関わる様々な人権問題に対する意識の高揚を図るため、様々な機会を通じて啓発活動を推進します。また、学校教育、社会教育、企業、行政などのあらゆる場において、人権教育を推進します。

<実績・成果等>

- 小中学校 PTA 人権教育学級の開催
市内 23 校の小中学校 PTA に委託し、人権教育学級を開催しました。
小学校 PTA 人権教育学級 15 学級
中学校 PTA 人権教育学級 8 学級
- 人権教育研修会等の開催
学校教育関係者や社会教育関係者などで構成される狭山市人権教育推進協議会との共催により、人権教育研修会、企業人権教育研修会、人権教育実践研究会を開催しました。

事業名 (会場)	期 日	内 容	参加者数
第1回人権教育研修会 (市民会館)	令和元年 10 月 18 日	講演会「同和問題の現状と課題～インターネット上の部落差別の実態と課題～」	111 人
企業人権教育研修会 (中央公民館)	令和元年 11 月 11 日	講演会「企業における人権～職場の人権啓発活動～」	19 人
第2回人権教育研修会 (教育センター)	令和元年 11 月 22 日	講演会「外国人から見た日本」	149 人
第3回人権教育研修会 (教育センター)	令和元年 12 月 9 日	講演会「多様な性ってなんだろう？ーすべての子どもがすごしやすい学校とは？ー」	140 人
人権教育実践研究会 (市民会館)	令和 2 年 2 月 14 日	実践発表 ・「小学校における人権教育」入間川小学校 ・「中学校における人権教育」西中学校 ・「公民館における人権教育」新狭山公民館	132 人

10款 5項 2目 文化財保護費

文化財保護事業

(社会教育課)

決算事項別明細書 283 ページ

予算現額	7,779,000 円		決算額	4,987,319 円		
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	2,791,681 円			県 支 出 金	1,084,000 円	
前 年 度 比 較	決算額			2,317,306 円	地 方 債	
	増減額			2,670,013 円	そ の 他	
	増減率	115.22%	一 般 財 源	3,903,319 円		

<目的>

郷土の歴史や文化を理解し、文化財愛護意識の高揚を図ります。

<内容>

貴重な文化財を後世に残すため、指定文化財の所有者や民俗芸能の保持者などを支援するとともに、民俗芸能の保存・継承に取り組む民俗芸能等の団体の活動を支援します。

<実績・成果等>

1 指定文化財等の管理を次のとおり実施しました。

事業名	実施内容
県指定史跡七曲井除草管理業務	除草2回、伐採1回
城山砦跡内除草・低木剪定等処分業務	2回
史跡管理業務（富士塚除草等）	1回
影隠地蔵除草管理業務	清掃12回、除草2回
今宿遺跡除草管理業務	清掃、除草3回
下水野の地蔵尊除草管理業務	清掃、除草12回
城山砦跡内違法廃棄物除去	1回
広福寺山門消防点検	現地調査立会い
指定文化財（七曲井）災害復旧工事（県費補助有）	台風19号災害復旧工事
指定文化財説明板板面交換等修繕	2基

2 指定文化財等の管理事業を次のとおり支援しました。

事業名	補助金額	実施報告内容
廣瀬神社の大ケヤキ樹勢回復事業	100,000 円	土壌改良及び施肥
堀兼神社隨身門修復実施設計業務	610,000	工事設計
笹井豊年足踊り提灯新調事業	27,000	提灯の新調
柏原祇園囃子法被新調事業	120,000	法被の新調
永代寺木造不動明王像修復事業	346,000	像の修復

3 民俗芸能等の団体の活動を次のとおり支援しました。

事業名	補助金額	実施報告内容
入曾の獅子舞後継者育成補助	60,000 円	獅子舞練習・上演
梅宮神社甘酒祭後継者育成補助	60,000	夜間に謡を練習・上演
入間川の鹿子舞後継者育成補助	60,000	獅子舞練習・上演
狭山市民俗芸能祭囃子後継者育成補助	142,000	囃子練習・上演
上赤坂の獅子舞後継者育成補助	60,000	子供習得会等開催
柏原祇園囃子後継者育成補助	30,000	子供会員を対象に練習

4 普及啓発事業を次のとおり実施しました。

事業名	開催日	参加人数	実施場所	実施内容
ふじみ寿大学 館外研修	5月14日	29人	狭山市内	稲荷山公園、狭山市立博物館の見学引率
学校講座	5月21日	74	広瀬小学校	縄文時代の暮らし（講義）
学校講座	6月4日	74	広瀬小学校	火おこしに挑戦！（体験学習）
学校講座	6月18日	74	今宿遺跡	遺跡見学解説
学校講座	7月10日	37	御狩場小学校	火おこしに挑戦！（体験学習）
発掘体験	7月26日	12	鳥ノ上遺跡	講座、発掘現場の見学、発掘体験
発掘体験	7月27日	11	鳥ノ上遺跡	講座、発掘現場の見学、発掘体験
展示監修	9月28～ 11月24日	-	博物館	狭山市立博物館共催企画展「縄文時代のさやまとつな展」
ドッキー作り 講座	11月2日	26	博物館	土器片そっくりなクッキー作り講座（博物館関連事業）
さやま遺跡 さがし隊	11月4日	21	鳥ノ上遺跡	発掘現場の見学、土器採取と洗浄作業体験（博物館関連事業）
出前講座	11月6日	11	鳥ノ上遺跡	遺跡についての講座、発掘現場の見学
開校記念日講話	11月15日	-	笹井小学校	宮地遺跡について
博物館関連事業 講演会	11月16日	58	博物館	狭山の縄文
講演会	11月21日	17	博物館	縄文中期中葉の土器型式と文化内容の変化について
出前講座	12月26日	18	鳥ノ上遺跡	講座、発掘現場の見学
狭山市文化財防 火デー-防火訓練	1月25日	80	金剛院	事前訓練と想定訓練、市指定文化財一般公開及び説明会を併せて実施
文化財講習会	2月1、8、15日	12	博物館	お囃子教室
文化財展1	2月1～18日	-	博物館	お囃子展
出前講座	2月12日	42	鳥ノ上遺跡	発掘現場の見学
出前講座	2月13日	14	鳥ノ上遺跡	発掘現場の見学
文化財展2	3月16～27日	98	市役所	令和元年度埋蔵文化財発掘調査概報

10款 5項 2目 文化財保護費

文化財発掘調査事業

(社会教育課)

決算事項別明細書 283 ページ

予算現額	44,531,000 円		決算額	41,490,800 円		
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金	1,060,000 円	
不用額	3,040,200 円			県支出金	530,000 円	
前年度 比較	決算額			34,214,799 円	地方債	
	増減額			7,276,001 円	その他	33,629,346 円
	増減率	21.27%	一般財源	6,271,454 円		

<目的>

開発等に際して、埋蔵文化財の確認調査を実施するとともに、発掘調査した埋蔵文化財を記録保存し、あわせて、公開することにより、埋蔵文化財を後世に伝えていきます。

<内容>

埋蔵文化財包蔵地における開発等に際して、事前に遺構確認調査を実施し、遺構が確認され、現状が保存できない場合には発掘調査を行い、その結果を記録保存するとともに、発掘した埋蔵文化財の展示等を通じ、市民への公開を進めます。

<実績・成果等>

- 各種開発行為に先立つ埋蔵文化財の調査
埋蔵文化財包蔵地内における確認調査を 48 件（総面積 45,034.91 平方メートル）実施しました。また、埋蔵文化財発掘調査を 1 件実施しました。

埋蔵文化財発掘調査名	調査結果
狭山工業団地拡張地区基盤整備事業発掘調査（鳥ノ上・小山ノ上・上双木遺跡）	奈良平安時代竪穴住居跡 116 軒、掘立柱建物跡 81 棟、土壙 140 基、溝跡 10 条、方形区画溝 1 条、性格不明遺構 4 件検出

- 出土品の整理
文化財センター内で出土品の復元、実測等の整理作業を行いました。

- 収蔵品の整理
文化財センター内にある資料の整理を行いました。

整理対象	作業概要	数量
寄贈報告書	受付処理一覧表整備	199 冊
図書資料（博物館蔵書）	博物館図書資料一覧表整備	2,670 冊

10款 5項 3目 富士見集会所費

富士見集会所管理事業

(社会教育課)

決算事項別明細書 285 ページ

予算現額	9,016,000 円		決算額	7,808,973 円		
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	1,207,027 円			県 支 出 金		
前 年 度 比 較	決算額			8,036,323 円	地 方 債	
	増減額			△227,350 円	そ の 他	1,393,920 円
	増減率	△2.83%	一 般 財 源	6,415,053 円		

<目的>

施設の管理運営の充実を通して、住民の教養の向上、生活文化の振興等を図ります。

<内容>

集会所を住民の集会その他の公共的利用に供する施設として、様々なニーズに応えられるよう施設の管理運営の充実を図ります。

<実績・成果等>

利用状況 開所日数 297 日

区 分	件 数	人 数
同 和 団 体	19 件	588 人
官 公 署	24	409
公 共 団 体	173	2,188
社会教育関係団体 (免除団体)	30	160
社会教育関係団体 (有料団体)	2,106	21,655
合 計	2,352	25,000

10款 5項 3目 富士見集会所費

富士見集会所講座等運営事業

(社会教育課)

決算事項別明細書 287 ページ

予算現額	1,017,000 円		決算額	673,022 円		
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金		
不用額	343,978 円			県支出金		
前年度 比較	決算額			786,382 円	地方債	
	増減額			△113,360 円	その他	
	増減率	△14.42%	一般財源	673,022 円		

<目的>

主催事業等を通して集会所運営の基本理念であるすべての人々の人権が真に尊重される社会の実現を目指し、同和問題をはじめとする様々な人権問題に対する理解と認識を深め、問題解決に資することができるよう人権教育の充実を図ります。

<内容>

人権学習の今日的課題である「女性・子ども・高齢者・障害者・同和問題・外国人・その他の人権」についての人権教育の充実を図ります。併せて、事業参加者・利用者相互の交流にも努めます。

<実績・成果等>

1 主催事業の実施

人権に関する講座を中心に主催事業として、次のとおり実施しました。

種 別	内 容	講 座 数	回 数	延べ人数
人権啓発	小・中学生対象 人権学習	講座 2	回 4	人 573
	成人一般人権セミナー及び 教職員人権教育研修会	2	9	401
	利用団体研修会	1	1	28
青少年	小・中学生対象の ふれあい教室等	3	15	259
成人一般	地域ふれあい講座	2	7	86
高齢者	ふじみ寿大学	1	8	242
その他	ふれあいコンサート	1	1	19
合 計		12	45	1,608

2 市民文化祭

市民文化祭の富士見集会所会場として、10月30日から11月2日までの計4日間、展示や催し物等を実施し、23団体が参加し、来場者は延べ887人です。

10款 5項 4目 公民館費

公民館管理事業

(中央公民館(公連分))

決算事項別明細書 287ページ

予算現額	141,778,000円		決算額	134,516,084円	
翌年度繰越額			特定 財源	国庫支出金	
不用額	7,261,916円			県支出金	
前年度 比較	決算額	130,971,044円		地方債	
	増減額	3,545,040円		その他	17,102,415円
	増減率	2.71%	一般財源	117,413,669円	

<目的>

市民の学習活動の場としての利用を通して、市民の生涯学習活動の促進を図ります。

<内容>

生涯学習の拠点として、生涯学習に取り組む場や生涯学習の成果を発表する場としての利用に供します。

<実績・成果等>

利用状況

区分	官公署		公共的団体(内免除登録団体)		有料団体		合計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
中央公民館	750	22,471	1,153 (233)	23,701 (2,598)	9,168	108,571	11,071	154,743
富士見公民館	44	170	548 (134)	7,512 (1,297)	5,156	53,432	5,748	61,114
入曽公民館	18	234	434 (0)	8,841 (0)	3,746	40,689	4,198	49,764
水野公民館	76	1,359	228 (8)	4,687 (136)	3,588	38,295	3,892	44,341
堀兼公民館	202	472	160 (4)	3,435 (40)	1,497	15,406	1,859	19,313
狭山台公民館	44	1,367	824 (146)	12,959 (1,409)	4,079	42,034	4,947	56,360
新狭山公民館	56	1,854	476 (26)	8,807 (378)	3,699	42,944	4,231	53,605
奥富公民館	79	260	467 (23)	7,797 (840)	1,373	15,022	1,919	23,079
柏原公民館	39	1,380	329 (62)	4,377 (795)	1,847	19,258	2,215	25,015
広瀬公民館	22	1,111	324 (16)	3,792 (112)	4,154	38,781	4,500	43,684
水富公民館	133	174	379 (53)	5,785 (354)	1,454	18,009	1,966	23,968
合計	1,463	30,852	5,322 (705)	91,693 (7,959)	39,761	432,441	46,546	554,986

10款 5項 4目 公民館費

公民館講座等運営事業

(中央公民館(公連分))

決算事項別明細書 289 ページ

予算現額	5,787,000 円		決算額	4,214,327 円		
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	1,572,673 円			県 支 出 金		
前 年 度 比 較	決算額			4,996,512 円	地 方 債	
	増減額			△782,185 円	そ の 他	
	増減率	△15.65%	一 般 財 源	4,214,327 円		

<目的>

市民のニーズや社会的な要請を踏まえて、各種の講座等を開催し、これらを通じて市民学習活動の促進と、社会教育の拡充を図ります。

<内容>

生涯学習及び社会教育の拠点として、市民のニーズや社会的な要請をふまえた講座等を開催します。

<実績・成果等>

講座等の開催状況

公民館名	事業件数	延べ開催回数	延べ参加人数
中 央 公 民 館	37 件	370 回	17,081 人
富 士 見 公 民 館	33	184	10,112
入 曾 公 民 館	18	69	7,110
水 野 公 民 館	37	232	9,523
堀 兼 公 民 館	32	121	5,430
狭 山 台 公 民 館	34	496	14,404
新 狭 山 公 民 館	32	230	10,361
奥 富 公 民 館	39	140	18,527
柏 原 公 民 館	33	82	5,855
広 瀬 公 民 館	36	145	8,802
水 富 公 民 館	36	129	11,077
合 計	367	2,198	118,282

10款 5項 5目 図書館費

図書利用推進事業

(中央図書館)

決算事項別明細書 291 ページ

予算現額	138,428,000 円		決算額	136,983,867 円		
翌年度繰越額			特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	1,444,133 円	決算額の 財源内訳		県 支 出 金		
前 年 度 比 較	決算額			125,135,431 円	地 方 債	
	増減額			11,848,436 円	そ の 他	30,401,430 円
	増減率	9.47%	一 般 財 源	106,582,437 円		

<目的>

図書やその他必要な資料を収集・整理・保存し、広く市民の利用に供することにより、読書活動の推進や、市民の学習や調査活動を支援します。

<内容>

図書、雑誌や新聞等の資料の選定・購入、図書館サービスを提供するのに必要となる臨時職員の雇用や図書館システムの借上げを行います。

<実績・成果等>

1 図書利用の推進

(1) 図書購入費	27,798,692 円	図書購入冊数	14,259 冊
うち 中央図書館	21,597,376 円	うち 中央図書館	10,430 冊
うち 狭山台図書館	6,201,316 円	うち 狭山台図書館	3,829 冊
視聴覚資料購入費	423,808 円	(DVD 28 点、CD 5 点)	

(2) 登録者数 149,940 人

(3) 利用実績

区 分	中央図書館	狭山台図書館	移動図書館	合 計	(内団体)
利用者数	198,218 人	53,604 人	6,563 人	258,385 人	(1,198) 団体
貸出数	605,644 点	181,533 点	20,525 点	807,702 点	(21,587) 点

(4) 資料区分ごとの貸出数

区 分	一般書	児童書	雑 誌	ビデオ	DVD	C D	カセット	DAISY※
貸出数	461,568 冊	289,895 冊	35,996 冊	321 点	7,920 点	11,714 点	285 点	3 点

(※DAISY とは印刷物を読むのが困難な人々のために製作されたデジタル録音図書)

(5) 児童奉仕

読み聞かせ、工作、体験学習等 80 回 (ボランティアグループとの連携実施を含む)

読み聞かせ講座等 2 回

子ども映画会 10 回

保健センターの事業での読み聞かせを通じた親子のコミュニケーション、図書館案内、絵本紹介等 5 回

その他 新型コロナウイルス感染症対策事業 (お楽しみパック事業※) 1 回

※小・中学生向けおすすめ本を 5 冊セットにして提供

- (6) 学校連携
小学生向けの広報紙「よむぞうタイムズ」75号、76号、77号、号外の発行
中学生向けの広報紙「よむレンジャー」40号、41号、42号の発行
出前事業（ブックトーク）の実施（小学校 19学級、対象573人、貸出1,357冊）
（中学校 4学級、対象119人、貸出 136冊）
出前事業（図書館利用教育）の実施（小学校 7学級、対象243人）
図書の団体貸出 77回、2,050冊
小中学生向けの図書館選定図書「よむぞうスクールパック」の貸出 1回
子どものときに読みたい本「さやまの100冊パック」の小中学校への貸出 4回
職場体験等学習受入 中学校 7校 35人
図書館訪問等の受入 小学校 11校 841人
中学校 1校 12人

2 その他

- (1) 市民文芸「さやま」24号 400部刊行（応募者数 105人、応募作品数 419点）
- (2) 視聴覚教材・教具貸出 52点（うち16ミリフィルム35点）、視聴者 721人
- (3) その他の奉仕活動
レファレンス 9,944件 資料コピー 10,273枚
リクエスト 65,752件

10款 5項 6目 博物館費

博物館管理事業

(社会教育課)

決算事項別明細書 293 ページ

予算現額	75,250,000円		決算額	73,734,244円		
翌年度繰越額			特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	1,515,756円	決算額の 財源内訳		県支出金		
前年度 比較	決算額			73,828,400円	地方債	
	増減額			△94,156円	その他	
	増減率	△0.13%	一般財源	73,734,244円		

<目的>

施設の維持管理及び資料の保管を行います。また、当市の歴史・文化・自然等に対する興味、関心を得られるような企画展・講座を開催し、郷土狭山に関する学習活動の醸成を図ります。

<内容>

常設展示では、展示テーマ「入間川と入間路」を中心に、狭山の自然・地質・考古・歴史・民俗などを通史的に展示するほか、博物館をより身近なものとするため、企画展とともに講座や体験学習を開催します。

企画展は、「狭山らしさ」を踏まえ、当市の歴史の一端に触れるもの、子どもたちの博物館への興味や関心を深めるもの及び独自性に富んだものを基軸として開催します。

<実績・成果等>

指定管理者制度の導入により、平成27年4月1日より指定管理者が管理運営を行っています。利用状況と事業の実施状況は次のとおりです。

1 入館の状況

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開館日数	25 ^日	24	26	27	28	27	27	27	22	24	26	1	284
入館者数	4,798 ^人	3,518	1,819	9,134	13,958	3,220	1,669	2,591	705	3,007	2,592	16	47,027

2 企画展

事業名	開催期間	日数	入館者数
岩合光昭写真展ネコライオン	3月9日～5月12日	(本年度分) 36 ^日	(本年度分) 7,555 ^人
ざんねんな昆虫展	6月29日～9月8日	64	26,681
縄文時代のさやまとつなん展	9月28日～11月24日	52	4,314
日本刀の美	1月11日～2月16日	33	5,024

3 企画展関連事業

事業名	開催期間	参加者数
春のまいまい体験講座	3月9日～5月12日 (全18回)	(本年度分) 560 ^人
夏のまいまい体験講座	6月29日～9月8日 (全43回)	5,268

昆虫標本を作ろう	8月10日	42
昆虫さがし隊 in 夜のどうぶつえん	8月17日	46
さんねんな昆虫展ギャラリートーク	8月11日、31日	91
秋のまいまい体験講座	9月28日～11月24日（全19回）	340
ドッキー作り講座～食べられる縄文土器～	11月2日	26
さやま遺跡さがし隊	11月4日	21
ダブル講演会“津南の縄文”“狭山の縄文”	11月16日	58
アングイン編みワークショップ	11月17日	17
ベビーカー・ツアー	10月15日、11月19日	22
冬のまいまい体験講座	1月11日～2月16日（全14回）	364
ギャラリートーク“日本刀について語る”	1月19日	113
実演“職人の技(1)～研師（下地研ぎ）～”	1月19日	45
実演“職人の技(2)～刀匠～”	2月2日	37
実演“職人の技(3)～研師（仕上研ぎ）～”	2月2日	45
実演“職人の技(4)～鞆師～”	2月9日	37
無外流・居合道演武	1月25日	111

4 講座・体験学習等

事業名	開催期間	参加者数
古文書読解講座（初級編）	4月6日～12月14日（全20回）	80人
古文書読解講座（中級編）	4月19日～2月14日（全11回）	61
甲冑着付け体験講座「若武者になろう」	5月4日、5日	111
さやはくフォーラム	5月6日～12月15日（全8回）	286
狭山ふるさと・さやマスターズ検定	5月6日～8月15日（募集） 7月20日（勉強会） 8月24日（試験） 10月20日（認定証授与式）	（受検者数）69
茶道体験講座「お茶席」	5月12日、10月13日	28
あおやぎ祭出張まいまい体験講座	5月18日	118
さやまナビーズ常設展ガイドツアー	6月4日～10月27日（全74回）	455
童句コンクール	7月1日～9月14日（募集） 10月14日（表彰式）	（応募者数）480
公募展「こどもの世界」美術展	7月1日～10月21日（募集） 11月16日～12月8日（展示）	（応募者数）30
体験講座「さやはく音楽会 三曲演奏会」	11月10日	142
野外体験講座「さやま化石さがし隊」	1月12日	34
歴史文化講座	2月8日、15日	121

10款 6項 2目 学校保健費

公立学校保健事業

(学務課)

決算事項別明細書 293 ページ

予算現額	60,336,000 円		決算額	58,217,035 円		
翌年度繰越額			特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	2,118,965 円	決算額の 財源内訳		県 支 出 金		
前 年 度 比 較	決算額			57,903,987 円	地 方 債	
	増減額			313,048 円	そ の 他	4,160,069 円
	増減率	0.54%	一 般 財 源	54,056,966 円		

<目的>

健康診断等を通じて、幼稚園・小中学校の園児・児童・生徒・教職員の心身の健康を保持します。

<内容>

学校保健安全法に基づき、幼稚園・小中学校の園児・児童・生徒・教職員を対象に健（検）診や学校環境衛生検査等を実施します。

また、園児・児童・生徒を対象として、学校管理下の災害に対し、災害共済給付(医療費、障害見舞金又は死亡見舞金)を行うため、災害共済給付制度に加入します。

<実績・成果等>

1 健康診断

学校医等の協力により、園児・児童・生徒の健康診断と学校環境衛生検査を実施しました。

区分	校(園)数	内科医	眼科医	耳鼻咽喉科医	歯科医	薬剤師
幼稚園	2 園	2 人	— 人	— 人	2 人	2 人
小学校	15 校	17	15	15	23	15
中学校	8 校	10	8	8	10	8

- 令和2年4月に小学校に入学する就学児童1,054人を対象に健康診断を実施しました。
受診児数1,031人(受診率97.82パーセント) 未受診児23人(主な理由は転居や転居予定に伴う他市受診、海外滞在中、私立小学校入学、居所不明児はなし。)
- 園児・児童・生徒を対象に尿検査を実施しました。
尿検査1次検査10,130人 2次検査491人 要精密検査(蛋白80人・糖3人・潜血24人)
- 児童・生徒の結核健康診断を実施しました。
受診者数9,830人 結核対策委員会要検討者なし 直接撮影者18人 要精密検査者数0人
- 小学校1年生、中学校1年生及び前年度未受診者を対象に、心電図検査を実施しました。
受診者数2,258人 要精密検査者数59人
- 教職員健康診断を実施しました。
集団健診受診者数222人(要精密検査者数60人)
個別健診受診者数74人(要精密検査者数6人)
結核健康診断受診者数288人 胃検診受診者数44人

2 災害共済給付制度

園児・児童・生徒の学校管理下の災害に備えて、日本スポーツ振興センター災害共済給付制度へ加入しました。
※保護者負担金の調定額及び収入済額4,080,365円

区 分	加入者数	共済掛金
一般児童生徒	8,778 人	8,207,430 円
要保護児童生徒	22	990
準要保護児童生徒	1,238	1,050,580
園 児	160	45,600
前年度途中加入者	30	25,100
合 計	10,228	9,329,700

10款 6項 3目 スポーツ振興費

市民スポーツ促進事業

(スポーツ振興課)

決算事項別明細書 295 ページ

予算現額	10,160,000 円		決算額	8,741,723 円		
翌年度繰越額			特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	1,418,277 円	決算額の 財源内訳		県 支 出 金		
前 年 度 比 較	決算額			7,542,491 円	地 方 債	
	増減額			1,199,232 円	そ の 他	229,233 円
	増減率	15.90%	一 般 財 源	8,512,490 円		

<目的>

スポーツに親しむことのできる場や機会の提供を通じて、市民のスポーツ活動の促進を図ります。

<内容>

市民のライフスタイルやニーズに応じて、各種スポーツ教室や行事を充実させ、また、ニュースポーツやウォーキングなどの気軽に楽しめるスポーツの普及を図ります。

<実績・成果等>

1 スポーツ教室等の開催

スポーツ教室は、15 種目 15 教室を開催し、延べ 908 人の参加があり、壮年ソフトボール大会をはじめとするスポーツ関連行事は、6 事業を実施し、567 人の参加がありました。

また、体育協会との共催事業としてクロスカントリー in Sayama2019 を開催し、1,176 人の参加がありました。

(1) スポーツ教室

教 室 名	期 間	会 場	参加者数	延べ人数
ゴルフ(初心者)	5月～6月 (8日間)	新狭山ゴルフセンター	12 人	90 人
バドミントン(初心者)	5月 (4日間)	狭山台体育館	17	55
卓球(初心者)	5月～6月 (5日間)	市民総合体育館	39	189
親子でボルダリング	6月 (1日間)	市民総合体育館	22	22
硬式テニス(初心者)	6月～7月 (6日間)	智光山公園	15	83
ラケットテニス体験会	6月 (1日間)	狭山台体育館	7	7
剣道(初心者)	7月 (5日間)	中央中学校	14	57
夏休みスポーツ体験	8月 (2日間)	東京家政大学	16	30
かけっこ(親子)	9月 (1日間)	元気プラザ	49	49
スポーツ吹き矢(初心者)	9月～10月 (5日間)	東京家政大学	19	89
弓道(初心者)	10月 (8日間)	市民総合体育館	12	75
体幹を鍛えて健康増進	10月 (2日間)	東京家政大学	29	55
ウォーキング	11月 (1日間)	狭山稲荷山公園	15	15

ランニング	12月 (1日間)	狭山稲荷山公園	41	41
ボウリング	2月～3月 (4日間)	新狭山グランドボウル	14	51

(2) スポーツ関連行事

事業	期 日	会 場 等	参加者数
壮年ソフトボール大会	5月12日	上奥富コンビネーショングラウンド	241 人 (13チーム)
さやま CITY ゴルフ大会	7月16日	東京ゴルフ倶楽部	137 (35組)
日帰りトレッキング	9月7日	茨城県筑波山	33
スポーツ障害予防講習会	9月28日	市民総合体育館	26
体力テスト会	10月14日	市民総合体育館	75
ドッジビー大会	11月10日	市民総合体育館	55 (5チーム)

(3) 共催事業

事業	期 日	会 場 等	参加者数
クロスカントリー in Sayama 2019	12月8日	狭山稲荷山公園	1,176 人

2 スポーツ推進委員の活動の促進

市主催等のスポーツ・レクリエーション事業への協力を得るとともに、スポーツ推進委員連絡協議会に、普及委員会、広報委員会、研修委員会を設置し、ニュースポーツの普及や地域スポーツの振興に取り組み、スポーツ推進委員の資質の向上を図りました。

スポーツ・レクリエーション事業への協力 12回 延べ 147人
 会議、委員会等 17回 延べ 172人
 実技研修等 5回 延べ 57人
 ニュースポーツ教室等（地域からの要請） 15回 延べ 56人
 広報紙の発行 1回
 埼玉県・入間地区による会議・実技研修等 19回 延べ 75人

3 社会体育関係団体の支援

社会体育関係団体に補助金を交付し、活動を支援しました。

狭山市スポーツ推進委員連絡協議会 90,000円
 狭山市レクリエーション協会 800,000円

4 市民体育祭の支援

地区体育祭に補助金を交付し、開催を支援しました。

市民体育祭（8地区、9会場） 3,064,000円

10款 6項 3目 スポーツ振興費

競技スポーツ振興事業

(スポーツ振興課)

決算事項別明細書 297 ページ

予算現額	5,094,000 円		決算額	4,754,456 円		
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	339,544 円			県 支 出 金		
前 年 度 比 較	決算額			4,868,896 円	地 方 債	
	増減額			△114,440 円	そ の 他	
	増減率	△2.35%	一 般 財 源	4,754,456 円		

<目的>

競技団体のスポーツ活動を充実させるため、補助金を交付し、スポーツ団体の育成・支援を図ります。

<内容>

スポーツ団体の活動を支援することにより、組織の充実を図るとともに、競技スポーツの振興と青少年のスポーツ活動の普及を図ります。

<実績・成果等>

1 関係団体の支援

関係団体に補助金を交付し、活動を支援しました。

狭山市体育協会

3,700,000 円

狭山市スポーツ少年団

684,000 円

2 トップアスリートによる教室等の開催を通じて、競技力向上と競技スポーツの啓発と普及に取り組みました。

(1) 中学生チアリーディング体験教室

日時：令和元年7月13日(土) 10時25分から12時5分

場所：柏原中学校体育館及び武道場

講師：日本体育大学チアリーダー部員

参加者数：250人

(2) 中学生ソフトボール教室

日時：令和元年11月10日(日) 10時から13時

場所：狭山台中学校校庭

講師：日本体育大学女子ソフトボール部員

参加者数：26人

(3) 鷺宮製作所野球教室

日時：令和2年1月18日(土) 8時50分から12時

場所：株式会社鷺宮製作所狭山事業所内グラウンド

講師：鷺宮製作所硬式野球部選手及びコーチ

参加者数：121人

10款 6項 4目 スポーツ施設費

市民総合体育館管理事業

(スポーツ振興課)

決算事項別明細書 297 ページ

予算現額	61,864,000 円		決算額	61,793,618 円		
翌年度繰越額			特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	70,382 円	決算額の 財源内訳		県 支 出 金		
前 年 度 比 較	決算額			61,149,460 円	地 方 債	
	増減額			644,158 円	そ の 他	
	増減率			1.05%	一 般 財 源	61,793,618 円

<目的>

スポーツ活動等の場の提供を通じて、市民のスポーツ・レクリエーション活動の促進を図ります。

<内容>

市民のスポーツ活動等の場として、市民総合体育館を市民の利用に供し、また、教室等の自主事業を実施します。施設の管理や自主事業については、指定管理者により実施します。

<実績・成果等>

エアロビクスやヨガ等の教室を 23 教室開催し、7,601 人の参加があり、また、スポーツ無料体験等の 3 事業を開催し、674 人の参加がありました。

利用状況

開館日数	利 用 者 数			
	利用件数	利用人数	一 日 平 均	
			利用件数	利用人数
306日	68,208 件	305,813 人	222.90 件	999.39 人

10款 6項 4目 スポーツ施設費

地域スポーツ施設管理事業

(スポーツ振興課)

決算事項別明細書 297 ページ

予算現額	45,949,000 円		決算額	44,887,794 円		
翌年度繰越額			特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	1,061,206 円	決算額の 財源内訳		県 支 出 金		
前 年 度 比 較	決算額			45,524,973 円	地 方 債	
	増減額			△637,179 円	そ の 他	
	増減率		△1.40%	一 般 財 源	44,887,794 円	

<目的>

スポーツ活動等の場の提供を通じて、市民のスポーツ・レクリエーション活動の促進を図ります。

<内容>

市民のスポーツ活動等の場として、地域スポーツ施設を市民の利用に供し、また、教室等の自主事業を実施します。施設の管理や自主事業については、指定管理者により実施します。

<実績・成果等>

幼児体操や親子体操等の教室を 20 教室開催し、8,948 人の参加がありました。

利用状況

狭山台体育館	開館日数	利 用 者 数			
		利用件数	利用人数	一 日 平 均	
				利用件数	利用人数
	305 日	4,582 件	47,530 人	15.02 件	155.84 人

狭山台プール	開館日数	利 用 者 数			
		小学生以下	中・高校生	一 般	計
		41 日	2,527 人	336 人	1,271 人

10款 6項 4目 スポーツ施設費

学校体育施設開放等事業

(スポーツ振興課)

決算事項別明細書 297 ページ

予算現額	1,367,000 円		決算額	1,280,300 円	
翌年度繰越額			特定 財源	国庫支出金	
不 用 額	86,700 円			県 支 出 金	
前 年 度 比 較	決算額	1,241,207 円		地 方 債	
	増減額	39,093 円		そ の 他	
	増減率	3.15%	一 般 財 源	1,280,300 円	

<目的>

小・中学校の体育館等の開放を通じて、市民のスポーツ・レクリエーション活動の促進を図ります。

<内容>

小・中学校の体育館等について、学校教育に支障のない範囲でスポーツ団体に開放します。また、入曾運動広場の管理は委託により実施します。

<実績・成果等>

利用状況

学 校 名	利 用 日 数	利用登録団体数	延べ利用者数
入間川東小学校	160 日	9 団体	2,938 人
富士見	234	13	7,999
南	238	19	10,563
山 王	58	3	467
入間野	234	12	5,053
御狩場	193	11	7,091
堀 兼	189	8	2,796
狭山台	251	14	8,379
新狭山	194	10	4,740
奥 富	177	9	6,141
柏 原	183	9	3,939
広 瀬	222	12	5,502
笹 井	158	11	3,865
水 富	118	3	2,450
中 央 中 学 校	169	8	2,911
入間川	159	5	2,165
山 王	147	5	1,607
入間野	158	5	3,850
堀 兼	177	5	2,355
西	246	17	7,788
柏 原	77	5	1,119
狭山台	199	6	3,110
合 計	3,941	199	96,828

※利用登録団体数は、令和2年3月末の値。

入曾運動広場	利用日数	利 用 者 数			
		利用件数	利用人数	一 日 平 均	
	利用件数			利用人数	
312 日	1,001 件	34,159 人	3.21 件	109.48 人	

10款 6項 4目 スポーツ施設費

スポーツ施設整備推進事業

(スポーツ振興課)

決算事項別明細書 297 ページ

予算現額	32,023,000 円		決算額	30,316,494 円	
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金	
不 用 額	1,706,506 円			県 支 出 金	
前 年 度 比 較	決算額			地 方 債	
	増減額			30,316,494 円	そ の 他
	増減率	皆増	一 般 財 源	30,316,494 円	

<目的>

市民ニーズに合わせた施設整備の推進を図ります。

<内容>

武道館の整備に関する基本方針に基づき、新たな武道館を整備します。

<実績・成果等>

- 1 武道館整備事業について、令和4年度の供用開始に向け設計業務委託を実施しました。
武道館整備工事設計委託料 29,082,100 円
- 2 武道館整備予定地の除草処理委託を実施しました。
除草処理委託料 418,000 円
- 3 武道館の周辺道路を整備するため登記をしました。
登記手数料 816,394 円

10款 6項 5目 学校給食センター費

給食センター管理事業

(入間川学校給食センター)

決算事項別明細書 299 ページ

予算現額	235,089,000 円		決算額	231,422,317 円		
翌年度繰越額			特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	3,666,683 円	決算額の 財源内訳		県支出金		
前年度 比較	決算額			229,160,789 円	地方債	
	増減額			2,261,528 円	その他	
	増減率		0.99%	一般財源	231,422,317 円	

<目的>

児童生徒に安全安心でおいしい給食を提供します。

<内容>

PFI 方式で更新した入間川学校給食センター、柏原学校給食センター及び堀兼学校給食センターの施設を割賦により取得します。

<実績・成果等>

学校給食の施設管理として、各センター施設内外の定期的清掃・消毒はもとより、薬剤師による衛生検査、給食業務に携わる全従業員の定期的な保菌検査を実施しました。

また、入間川、柏原学校給食センターについては、PFI 方式で建設したセンター施設の取得に係る割賦分の支払いを行いました。(144,698,730 円)

堀兼学校給食センターについても、PFI 方式で建設したセンター施設の取得に係る割賦分の支払いを行いました。(75,661,542 円)

10款 6項 5目 学校給食センター費

学校給食事業

(入間川学校給食センター)

決算事項別明細書 301 ページ

予算現額	529,333,000 円		決算額	517,408,849 円		
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	11,924,151 円			県 支 出 金		
前 年 度 比 較	決算額			513,429,280 円	地 方 債	
	増減額			3,979,569 円	そ の 他	
	増減率	0.78%	一 般 財 源	517,408,849 円		

<目的>

児童生徒に安全安心な給食を提供します。

<内容>

学校給食衛生管理基準に基づき、給食を調理し、安全安心でおいしい給食を児童生徒に提供する。アレルギーについては、適切に対応した給食を調理し提供します。また、栄養士等による食育の充実に取り組みます。

<実績・成果等>

安全安心な学校給食を提供するため、下記のとおり実施しました。

1 給食実施状況

- (1) 給食の実施回数 小中学校とも 168 回
- (2) 給食の提供人員 小学校 15 校 7,165 人、中学校 8 校 3,630 人
- (3) アレルギー対応食提供人員 小学校 57 人、中学校 9 人

2 学校訪問等の実施状況

- (1) 学校訪問 小学校 15 校 25 回
- (2) 栄養指導 小学校 9 校 89 時間
中学校 4 校 67 時間
保護者・教員 (学校保健委員会、給食センター試食会) 20 回
延べ 955 人 (37 回)
- (3) 試食見学会